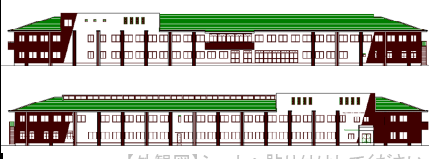
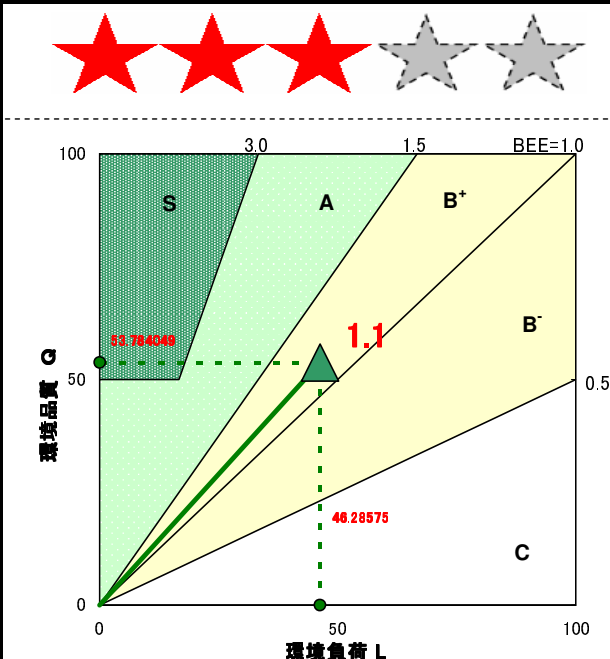


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	高田病院 精神科病棟	階数	地上3F	 【外観図】シートへ貼り付けてください。
建設地	熊本県八代市	構造	S造	
用途地域	第二種中高層	平均居住人員	140 人	
気候区分	地域区分Ⅴ	年間使用時間	XXX 時間/年	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2011年12月 予定	評価の実施日	2010年3月14日	
敷地面積	21,018 m ²	作成者		
建築面積	1,486 m ²	確認日		
延床面積	2,826 m ²	確認者		

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 1.1

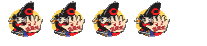
$$\text{BEE (環境効率)} = \frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$$

■ CASBEE 評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	☆☆☆☆☆	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	☆☆☆☆	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	☆☆☆	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	☆☆	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	☆	劣る	0.5未満	—

2 熊本県重点評価結果

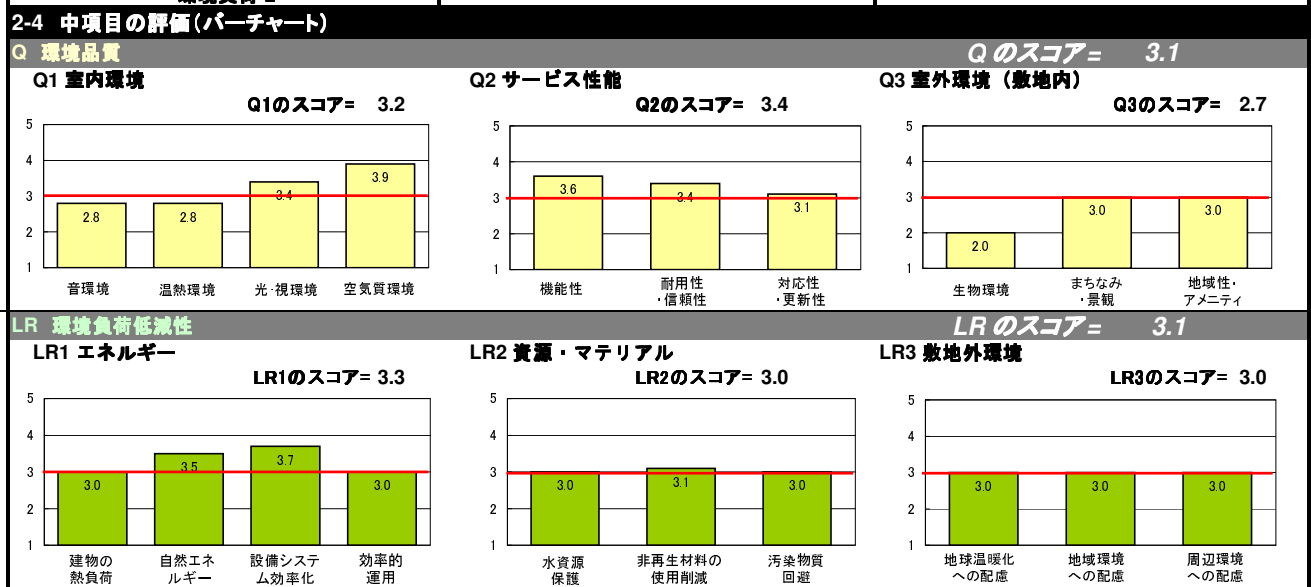
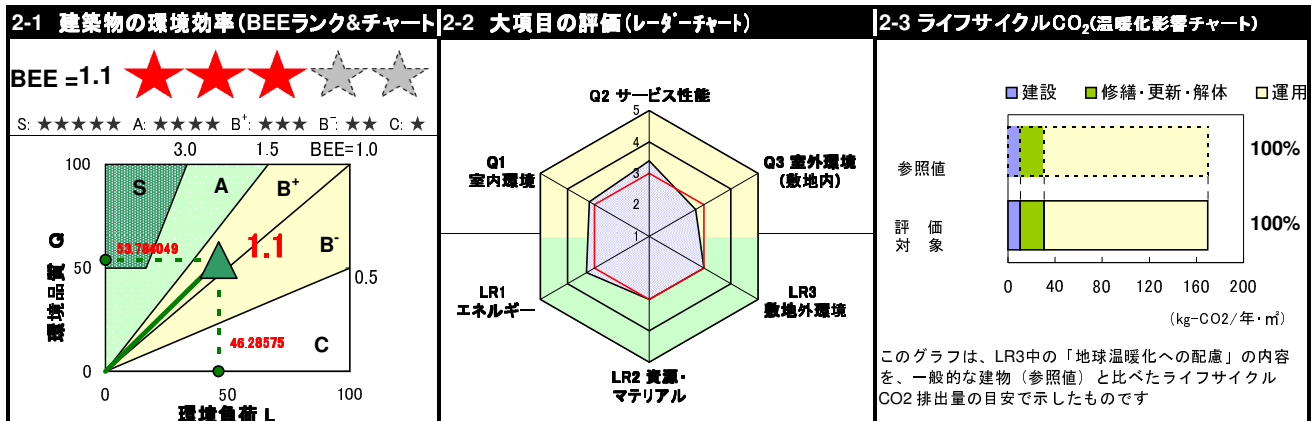
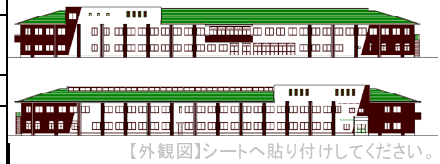
■ 重点事項総合評価

			評価点
			79
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	評価点	■ 熊本県重点評価基準	
	80.5	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	77.5	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現	79.8	60点以上80点未満	
		40点以上60点未満	
		40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。			

CASBEE®熊本《新築》【評価結果】

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2008年版 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	高田病院 精神科病棟	階数	地上3F
建設地	熊本県八代市	構造	S造
用途地域	第二種中高層	平均居住人員	140 人
気候区分	地域区分V	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年12月 予定	評価の実施日	2010年3月14日
敷地面積	21,018 m ²	作成者	
建築面積	1,486 m ²	確認日	
延床面積	2,826 m ²	確認者	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

地域の景観の調和を図り、日影や電波障害等地域に与える影響を最大限抑えると共に入院患者や利用者の災害時の避難や利便性を追求するため、主な利用階は2階以下とし、建物全体でも最大3階以下とする全棟低層化を根本に計画致しました。

Q1 室内環境

入院患者が治療に専念できるよう落ち着いた内装とした。空調は各室個別空調とし、それぞれの空間において快適な居住環境をつくれるよう計画しました。

Q2 サービス性能

多床室でも患者一人あたりの面積が8㎡以上確保できるよう計画しました。
また、設備機器等の更新を考慮し、十分な天井懐を確保できるよう計画しています。

Q3 室外環境（敷地内）

できるかぎりの緑化に努め、アスファルト舗装部分についても透水性アスファルトを使用します。外装材はブラウン系を使用し、周辺環境との調和を図りました。

LR1 エネルギー

空調は個別空調とし、無駄なエネルギー消費を抑制します。
なお、2階廊下上部にはトップライトを計画し、日中の電力消費を抑える計画としています。

LR2 資源・マテリアル

個室洗面所は節水のため自動水栓としました。
また、外装材・屋根材にはリサイクル材を使用し、環境負荷を軽減しました。

LR3 敷地外環境

建物外周には中高木を植栽し、現況より広い面積の緑化を行います。
外装粗面仕上げタイルとし、かつ周辺住宅より15m以上離れた配置計画とし、太陽光グレアや日影等に配慮しています。

その他

中廊下型両側居室の折れ曲がりのない平面計画とし、利用・管理のしやすい計画としています。また、低層化を図り、避難経路を極力短くする計画としています。

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 高田病院 精神科病棟

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築 (簡易版) 2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体
配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境			0.40					3.2
1 音環境		2.8	0.15	2.8	1.00			2.8
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		2.0	0.20	2.0	0.20			
2 温熱環境		2.8	0.35	2.8	1.00			2.8
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室温設定		3.0	0.60	3.0	0.57			
2 負荷変動・演算制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.40	3.0	0.43			
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		2.0	0.20	2.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		3.6	0.25	3.3	1.00			3.4
3.1 昼光利用		5.0	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	3.2-4.34	5.0	1.00	5.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		-	-	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 照度均斉度		-	-	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		4.0	0.25	3.8	1.00			3.9
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆の積極的な採用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 タニカビ対策		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.5	0.30	3.5	0.38			
1 換気量	シックハウス換気の1.2倍以上	4.0	0.50	4.0	0.50			
2 自然換気性能		3.0	-	-	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.50			
4 給気設備		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		5.0	-	-	-			
2 喫煙の制御	建物全体が禁煙	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.4
1 機能性		3.0	0.40	4.6	1.00			3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60	5.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.40	4.0	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	-	5.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		-	-	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-			
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.4	0.31	-	-			3.4
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-			
1 耐震性	Qu/Qun=約1.5~3.2	4.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.25	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.25	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	-	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.17	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.25	-	-			

2.3 適切な更新				-	-	-	-
2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備	浸水の危険なし(地上設置)	4.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.1	0.29	3.2	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			3.4	0.45	3.4	0.50	-
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60	-
2	空間の形状・自由さ	比率:0.14	4.0	0.40	4.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.55	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	トップライト	4.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化		ERR=0	3.7	0.30	-	-	3.7
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	-
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.63	-	-	3.1
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	耐火野地板、外装材タイル(グリーン購入法適合品)	4.0	0.20	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み		3.0	0.24	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-
2	断熱材		3.0	0.50	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	0.33	-	-	-
2	振動		3.0	0.33	-	-	-
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	-
3.2	風害、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-